

メフィスト

醜い、真実よりも、きれいな嘘に生きたい。



1981年カンヌ映画祭国際映画批評家連盟賞 ■ 1981年カンヌ映画祭シナリオ賞
醜聞と虚栄にみちながらも、狂気の時代を輝き通した実在の天才役者、その半生。



イシュトバーンサボー監督作品

Ein Film von ISTVÁN SZABÓ "MEPHISTO"

■ KLAUS MARIA BRANDAUER / KRYSZYNA JANDA / ILDIKÓ BÁNSÁGI

■ EASTMANCOLOR / Nach von KLAUS MANN / Buch: ISTVÁN SZABÓ, PÉTER DOBAI

■ Kamera: LAJOS KOLTAI / Musik: ZDENKO TAMASSY / Kostime: ÁGNES GYARMATHY

■ MAFILM, MANFRED DURNIOK PRODUKTION / DAIEI INTERNATIONAL FILMS INC.

クラウス・マリア・ブランドアウアー / クリスティナ・ヤンダ / イルディコ・バンサーギ
ゲーストマンカラー / 原作 クラウス・マン / 脚本 イシュトバーン・サボー / ヘーテルド・バイ
撮影 フォン・シュニョルタ / 音楽 セコ・タマン / 衣装 アグネス・シュギャルマン
マフィルム・マンフレッド・デュニョク・プロダクション / 共同製作 / ハンガリー・西ドイツ合作 / 配給 大映・インターナショナル・フィルム

ひとは誰でも
自分自信を演技する——。
クラウス・マン原作、完全映画化！

解説

これは、ナチス第3帝国台頭の渦中で、自分の人生を、運命を、そして自分自身をひたすら演技しようとした男の物語である。

原作はトーマス・マンの息子クラウス・マンの同名小説「メフィスト」。この原作は主人公ヘーフゲンが、当時ドイツ最高の名優といわれたグスタフ・グリュントゲンスにあまりに酷似し、しかもその内容がかなりスキャンダラスなものであったため、たちまち発禁処分とされた。著者クラウス・マンはそれに怒り、抗議の手紙を残して自殺した。彼がその死をもってしてまで人々に訴えたかった主人公ヘーフゲンとはどんな男なのか。ちなみに、モデルといわれるグリュントゲンスは、短い間ではあったがクラウス・マンの姉エリカ・マンと結婚していた。ここにも、この原作を発禁処分追い込んだスキャンダラスな、批判的な内容がおり込まれている。長い沈黙を破って'81年ようやくこの原作は再版されたが、たちまちドイツ全土に「メフィスト」ブームが巻き起こり、わずか数ヶ月で30万部を売りつくすという空前のベストセラーとなった。

映画「メフィスト」はこの原作をさらに掘り下げ、主人公ヘーフゲンが時に友を裏切り、女たちを利用し、歴史の流れに巧みに適応しながら、ナチス第3帝国において次第に成り上っていく様をリアルに、衝撃的に描き出した。

誰もが持っている仮面、悪魔のような狡猾さと、天使のような繊細さという仮面を上手に使いこなす主人公ヘーフゲン。ひとは彼の中に自分自身をみつけ、思わずその恐ろしさに気づくかも知れない。鬼オイシュトバーン・サボーは、この人間の二面性という普遍的なテーマを、名優クラウス・マリア・ブランダーウアーを得て、見事に現代に甦えらせた。



MEPHISTO

メフィスト

原作/クラウス・マン
脚本/イシュトバーン・サボー/ペーテル・ドノバイ
監督/イシュトバーン・サボー
撮影/ラウシュ・コルタイ
音楽/ゼンコ・タマシ
衣装/アグネーシュ・ギャルマン

イーストマン・カラー
ハンガリー・西ドイツ合作
製作/マ・フィルム
マンフレッド・ドルニオクプロダクション
(上映時間/2時間25分)
配給/大映インターナショナルフィルム



1981年カンヌ映画祭国際映画批評家連盟賞 ◆ 1981年カンヌ映画祭シナリオ賞

4月23日(金)ロード
ショー
特別鑑賞券 1,200円
発売中(当日料金1,500円均一の処)

シネマスクエア
とうきょう
新宿コマ劇場向い ミラノ座横3F (232)9274

上映時間 日・祝 9:30より 平日 12:30 3:30 6:30

●全席自由定員制(入替制)

●毎金・土曜の夜はレイトショーPM9:30より
●満席及び上映中の入場はできません。●座席に限りがありますので土・日・祭は大変混雑して入場できない場合がございます。平日が比較的に楽にご覧になれます。